

食支援第4弾 「食べる」を支える多職種連携

最期まで「食べる」を楽しむ摂食嚥下支援～事例から学ぶ～

「食べる」ことは、在宅療養を支える基本です。

今回は、「食べるための口腔機能管理」「摂食嚥下障害のある方への支援」について、歯科医師と言語聴覚士の立場から事例を交えてお話しいたします。食支援に関する観察ポイントや多職種連携の在り方を学ぶ機会となります。多くの方のご参加をお待ちしています。



日時

令和8年3月7日（土）

14：00～16：00（受付開始13：40～）

会場

灘区文化センター

5階大会議室

所在地：神戸市灘区深田町4丁目1-39
（メイン六甲Aビル5階）

対象

医療・介護・福祉関係者
（定員80名）

参加費

無料

プログラム（講演とグループワーク）

1. 講義

① 歯科の訪問診療について

くろき歯科

院長 黒木輝哉 先生

② 在宅における言語聴覚士の食支援 — 生活の中で「食べる」を支える —

神戸海星病院リハビリテーションセンター
言語聴覚士 小原裕夫 氏

2. グループワーク

学んだことを確認しましょう！

お申込み

WEB・二次元コードからのお申込み

<URL> <https://forms.gle/sFf7fp3NRjUxEV7Z8>

<医療介護サポートセンターホームページ> <https://kobe-iks.net/>
（➡医療・介護関係者の皆さま➡灘区➡研修会）からもお申込みいただけます。

<二次元コード>



申込締め切り

3月2日（月）

（定員に到達次第、申込期日前でも受付を締め切る場合があります）